

平成 27 年度 犬山国際交流協会通常総会議事録

1. 日時 平成 27 年 5 月 16 日（土）午前 10 時～午前 11 時
2. 場所 犬山国際観光センター 2 階 多目的研修室
3. 出席者 55 名（表決委任者 155 名）（正会員 415 名）
4. 総会次第
 - (1) 開会
 - (2) 会長挨拶
 - (3) 来賓挨拶
 - ① 犬山市長山田拓郎様ご挨拶
 - ② 犬山市議会副議長三浦知里様ご挨拶
 - ③ 愛知県議会議員原よしのぶ様メッセージご紹介
 - ④ 犬山市議会議員ご紹介
 - (4) 総会成立宣言
 - (5) 議長選出
 - (6) 議事録署名人選出
 - (7) 議事
 - ① 報告第 1 号 平成 26 年度犬山国際交流協会事業報告について
 - ② 認定第 1 号 平成 26 年度犬山国際交流協会収支決算書について
 - ③ 報告第 2 号 平成 26 年度犬山国際交流協会監査報告について
 - ④ 議案第 1 号 犬山国際交流協会新役員の選任について
 - ⑤ 議案第 2 号 平成 27 年度犬山国際交流協会事業計画（案）について
 - ⑥ 議案第 3 号 平成 27 年度犬山国際交流協会予算（案）について
 - (8) その他
 - (9) 閉会

総会終了後、平成 26 年度犬山青少年海外派遣事業の高校生 3 名（派遣時は中学 3 年生）による体験談の発表を実施した。

<会長挨拶>

犬山国際交流協会高木会長より、総会にあたっての挨拶を行った。

<来賓挨拶>

犬山市長山田拓郎様、犬山市議会副議長三浦知里様よりご挨拶を頂いた。
愛知県議会議員原よしのぶ様は当日所用のため、ご欠席されたが、メッセージを頂戴し出席者にご紹介した。
犬山市議会議員の方は多数ご出席頂いたため、名前のみご紹介した。

犬山市議会議員 玉置幸哉様、山田拓司様、柴田浩行様、大沢秀教様、
後藤幸夫様、鈴木伸太郎様、吉田鋭夫様、中村貴文様、岡 覚様、水野正光様、
上村良一様、ビアンキ アンソニー様、柴山一生様、稲垣民夫様 14 名

<総会成立>

事務局より本総会は、会則第 28 条（定足数）「正会員総数の 5 分の 1 以上の出席がなければ、開会することができない」との条項により、本総会は正会員 415 名のうち 56 名出席、委任状 155 名で計 211 名となっている。

正会員の 5 分の 1 以上の出席・委任状を得ているので、本通常総会は成立する旨、報告があった。

<議長選出>

高木会長より会則第 27 条の規定に基づき、議長選出を事務局に一任し、亀井理事に任せたい旨、提案を行って承された。

<議事録署名人選出>

高木会長より議事録署名人選出についても、事務局に一任し、米澤 邦弘氏及び大鹿 俊雄氏にお願いしたい旨、提案を行って承された。

<議案の審議及び結果>

議長より、報告第 1 号「平成 26 年度犬山国際交流協会事業報告」及び認定 1 号「平成 26 年度犬山国際交流協会収支決算書」について、相互に関連があるため一括審議を行うこととし、事業報告は井戸副会長より、収支決算書は事務局より報告する旨、説明があった。

<平成 26 年度犬山国際交流協会事業報告>

井戸副会長より、通常総会資料 P2～P8 の内容についてパワーポイント資料に基づき説明を行った。

<平成 26 年度犬山国際交流協会収支決算書報告>

事務局より通常総会資料 P9～P12 について説明を行った。

<監査報告>

犬山国際交流協会監事 米澤 邦弘氏から 4 月 27 日に米澤監事と大鹿監事の両者で会計監査を行い、会計が適正に実施されていることが報告された。

<質疑>

事業報告及び収支決算報告に関し、会員から事業予算が凡そ 800 万円規模である中で、事務費（主に人件費）が 400 万円かかっていることは問題であり、ボランティアにやってもらったらどうかという問題指摘がなされた。

これに対し、事務局からは費用が多くなっているのは、協会事業を実施する上で、必要な時間が多くなったためであるとの説明を行った。

他に質問等がなかったため、表決に移り、報告第 1 号、認定第 1 号について拍手多数で原案どおり承認された。

<新役員選任>

議長より議案第 1 号（新役員選任）について、牛田理事より提案する旨、説明した。

牛田理事より、新役員候補 棚瀬尚子氏の紹介を次のとおり行った。

棚瀬氏は大学卒業後、ドイツのベルリン芸術大学で器楽教育を専攻され、帰国後はフルート教育や演奏活動を主体としながら、6年にわたるドイツでの滞在経験を活かし、日本とドイツをつなぐ活動を精力的に行っておられる。

又、以前当協会の事業である中学生のドイツ派遣事業のコーディネーターも行って頂いた事もあり、当協会の今後の事業活動に同氏の知見や国際感覚を活かして頂けることを紹介し、通常総会資料 P14 の平成 27 年度犬山国際交流協会役員（案）に基づき新理事として棚瀬氏を選任したい旨、提案を行った。

この提案に対し、特に質問、意見が出されなかったため、議長から表決に移る旨、宣言し表決を行い、拍手多数で新役員選任案が了承された。

<平成 27 年度犬山国際交流協会事業計画及び予算>

議長より、議案第 2 号（平成 27 年度事業計画）及び議案第 3 号（予算）について相互に関連するため一括審議とすること及び事業計画は日比野副会長、予算は事務局から説明する旨、説明があった。

日比野副会長から P15～P16 の事業計画、事務局から P17～P18 の予算書の説明を行った。

この事業計画、予算については特に質問、意見がなかったため、議長から表決に移る旨、説明し表決を行い、拍手多数で議案第 2 号、議案第 3 号が承認された。

以上で全ての報告、審議が終了し、平成 27 年度通常総会は閉会した。

閉会後に同会場にて平成 26 年度青少年海外派遣事業でドイツに派遣された

本多 ^{うらら}麗さん永田 ^{はるか}遥さん、富田 ^{まほ}茉帆さん（いずれも派遣時は中学 3 年生）

の 3 名による体験談の発表を行った。

【資料修正】

ボランティアグループの主な事業の P7 及び P8 の犬山グッドウィルガイドの次の項目について修正する。

1. P8 の会員数 38 名 → 44 名
2. P9 の一般市民向け「国際交流理解」に関する活動の表中、国際理解学習 10/3、市立東部中での実施内容を削除。